

わ

が

街

わ

が

故

郷

## NTN株式会社 磐田製作所と静岡県磐田市

日本のほぼ中央、西は天竜川、南は遠州灘、北は赤石山脈に囲まれた人口17万人、面積164km<sup>2</sup>の静岡県磐田市。市内には天竜川の豊富で良質な地下水と温暖な気候や恵まれた流通条件を活かして、輸送用機械器具・楽器や光技術関連産業など製造業の主力工場が立地し、東海道新幹線・東海道本線の車窓から**NTN**マークが目に見えます。今回は、NTN株式会社 磐田製作所と静岡県磐田市を紹介させていただきます。

### 磐田製作所の紹介

1960年（昭和35年）に（株）東洋ベアリング磐田製作所として設立され、ボールベアリングの量産を始めました。その後、ニードルベアリング工場・等速ジョイント工場・精機工場を建設し、1983年にNTN（株）に合併され現在に至っています。磐田製作所は市東部の工業専用地域に位置し、国内の5製作所の中で最大の生産規模を有



磐田製作所

し生産額の約40%を占めております。敷地内には4工場のほか2研究所、自動車商品本部、精機商品事業部があり、従業員は2,320名、敷地総面積は260,000m<sup>2</sup>、建築総面積は175,000m<sup>2</sup>の規模で、地域に根付いた工場として社会に貢献しております。

### 磐田市の紹介

昨年4月に5市町村が合併して新「磐田市」が誕生しました。市内には約500基以上の古墳が現存し、奈良時代に遠江国分寺と遠江国府が置かれ遠州地方の中心として栄え、江戸時代には東海道五十三次見付宿として繁盛するなど、東西交通の要衝として発展してきました。現在でも東海道新幹線・東海道本線・東名高速道路・国道1号線および国道150号線が市の東西を横断し、さらに第二東名や「Mt. Fuji静岡空港」の建設により交通利便性の向上が約束されています。平成16年度の製造品出荷額は1兆8600億円、浜松市に次ぎ県内第2位であり国内有数の工業都市となりました。キャッチフレーズは「光と風・水と緑 ひとが、まちが、いま耀き出す～自然あふれ、歴史・文化薫るゆとりと活力のまち」で、合併をテコに一段と推進力を高めていこうという意図が込められています。また、Jリーグ「ジュビロ磐田」のホームタウン

であり、ジュビロ磐田の活躍により「磐田」の地名が全国的に知られるようになりました。



ヤマハスタジアム（磐田）

## 見どころ

### 遠江国分寺跡

奈良時代の天平13年（西暦741年）、聖武天皇は国ごとに国分寺を建立するように命じ、遠江では県庁にあたる磐田の地に「遠江国分僧寺・尼寺」が建てられ、8世紀後半に完成したと考えられています。遠江国分寺は七重の塔をはじめとする金堂・講堂・回廊・中門・南大門など奈良東大寺様式の配置が確認され、国の特別史跡に指定されています。現在は、梅や桜が美しい史跡公園となっていて、塔の礎石が当時を忍ばせています。



遠江国分寺跡

### 見付宿

見付という地名は、東海道を京から東へ下って行くところの地で旅人がはじめて富士山を見ることができたので「みつける」がその由来だと言われています。見付宿は東海道五十三次のうち、江戸日本橋から数えて28番目です。江戸への距離は59里半（約238km）、京までは70里（約

280km）で東海道のほぼ中央に位置します。宿の中央には本陣・旅籠や商屋が並び、宿の外れではうどんや饅頭を売る茶店がありました。天保13年（1842年）には、本陣2軒、脇本陣1軒、旅籠39軒があったと記録されています。

### 桶ヶ谷沼

桶ヶ谷沼は、面積7.43ha、周囲1.7kmの日本一のとんぼの生息地で、67種類（日本にいるとんぼの種類の約1/3）の生息が確認されており、静岡県自然環境保全地域に指定されています。また、野鳥や水生植物の宝庫でもあり、春には一面に菜の花が咲き乱れます。ビジターセンターには桶ヶ谷沼の貴重な動植物をパネルや標本で紹介する展示ホールや視聴覚室、研究活動室等があり、沼の自然を身近に感じられる自然環境保護活動・自然体験学習の拠点となっています。



桶ヶ谷沼

### 見付天神裸祭

見付天神裸祭は、毎年旧暦8月10日の直前の土、日曜日にかけて行われる東海道遠州見付に古くから伝わる矢奈比売神社（やなひめじんじャ）の大祭で、現在では国指定重要無形民俗文化財に指定されています。見付天神裸祭は矢奈比売神社（見付天神社）の神様が、遠江国の総社である淡海国玉神社（おうみくにたまじんじャ）へ神輿に移され渡御する際に行われる祭で、渡御に先立ち裸の群衆が町中を練り歩き、拝殿で乱舞することから「裸祭」と呼ばれています。この祭は、鎌倉時代後期、悉平太郎（しっぺいたろう）の怪物退治により、感謝と喜びの余り踊ったのが始まりとされています。

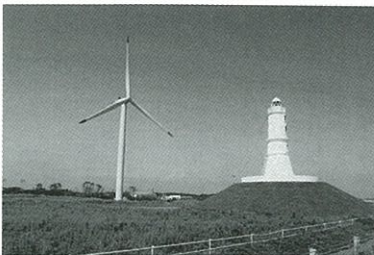




見付天神裸祭

### 掛塚屋台囃子と竜洋海洋公園

天竜川の河口には、かつて江戸時代に海上交通の要衝として栄えた掛塚湊がありました。今は掛塚灯台と、毎年10月第3週に行われる掛塚貴船神社例大祭がその面影を残しております。大祭では豪華な屋台がひき回され、運行中に奏でられる「掛塚屋台囃子」は県の無形民族文化財に指定され、そのゆったりとした京都流の優雅なお囃子は聞くものの心を和ませてくれます。また、掛塚湊の跡地には「竜洋海洋公園」があり、オートキャンプ場など家族みんなで楽しめる施設が揃っています。公園内には日本最大級の発電能力（1,900kw）を誇る風力発電施設があり、掛塚灯台と羽の直径80mの巨大な風車が回る風景は新しい名所となっております。



風車と灯台

### 豊岡梅園と熊野（ゆや）の長藤

春から秋にかけてまさに花の王国。豊岡梅園は4万坪の敷地内に約4,000本の梅が植えられ、2～3月には咲き競う花が山全体を白く覆い、花の下では花見を楽しむ方も多く見られます。

また、池田の行興寺境内にある国指定天然記念物の熊野の長藤は4月下旬が見頃です。推定樹齢800年を数え、30数本ある長藤の花房は1m以上になります。毎年この時期になると、公園内にある能舞台を中心に新能や箏曲・写真撮影会など、さまざまなイベントが行われます。

### －特産品－

#### マスクメロン

太平洋沿岸のあたたかい環境に恵まれた一帯がマスクメロンの産地です。優れた環境と技術を生かし日本一の美味しさと出荷量を誇っています。

#### トラふぐとシラス

福田漁港から水揚げされた新鮮な魚介類は、全国でも高く評価されているシラスをはじめ、夏には淡白で低カロリーな鰹料理、冬は遠州灘の黒潮にもまれた天然トラふぐの日本屈指の漁場です。シラスは主にイワシ類の稚魚の総称で、漁盛期は春と秋頃ですが、特に秋のシラスは「秋シラス」と呼ばれ、身が締まってみずみずしいものです。

#### 白葱と海老芋

白葱は、白い部分が27cm以上に作るので土寄せといって土を盛り上げる作業をして、毎年12月～3月まで出荷しています。すき焼き、寄せ鍋などの鍋物には欠かせません。ねぎ味噌は絶品です。また、江戸時代の安永年間（1772～1781）に長崎から伝わった里芋は土寄せを何回も行い、土の重さで湾曲した芋の形が海老に似ているところから海老芋の名前で呼ばれています。肉質は粉質でよくしまり、煮ても形が崩れず極めて優れた里芋といえましょう。

磐田市 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp>

（NTN株式会社 磐田製作所）